

1

2

3

#### **4 Prioris HX Server シリーズ**

#### **5 Windows NT Server インストールガイド**

#### **6 ServerWORKS Quick Launch Version 1.0用**

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

**24**

**25**

**26**

**27**

**28**

**29**

**30**

**31**

**32**

**33**

**34**

**35**

**36**

**37**

**38**

**39μ §日本デジタルイクイップメント株式会社**

*Version 1.1*

## はじめに

本書は、「ServerWORKS Quick Launch Version 1.0」CD-ROM が付属している Prioris HX Server シリーズに Windows NT Server 3.51 をインストールする際の、注意事項について説明したものです。「ServerWORKS Quick Launch Version 1.0」CD-ROM が付属している Prioris HX Server の Windows NT Server 3.51 をインストールする場合にお読みください。Windows NT Server 3.51 に付属のマニュアル、ご使用の Prioris HX Server に付属のマニュアルおよび装着するオプション装置に付属のマニュアルもあわせてごらんください。

本書は「ServerWORKS Quick Launch Version 1.0」CD-ROM が付属している Prioris HX Server シリーズに Windows NT Server 3.51 をインストールする際の、注意事項について説明したものです。

-2-

1. 本書の構成	2
2. 本書の目的	2
3. Quick Launch	5
4. 本書の構成	8
5. EZ-SCSI	9
6. Windows NT Server 3.51	10
7. 本書の構成	13

## ご注意

- 1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 3) 本書の内容については万全を期して作成しましたが、お気付きの点がございましたらご連絡ください。よろしくお願いいたします。
- 4) 運用した結果の影響につきましては、3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

digital, Digital PC は、米国 Digital Equipment Corporation の商標です。

Pentium は、米国 Intel 社の商標です。

Phoenix BIOS は、米国 Phoenix Technologies 社の商標です。

Microsoft, MS, MS-DOS, Windows, Windows NT は、米国 Microsoft 社の商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

## 1. インストールをはじめる前に

本書では設定例として、次の2つの構成の場合に Windows NT Server 3.51 の CD-ROM 版をインストールする方法について説明します。

Ethernet コントローラ 3Com 3c579(PH-5792-01 または PH-579T-01)を追加して、標準装備の SCSI コントローラ(AHA-2940W)に SBB および DAT または DLT を接続する場合。

Ethernet コントローラ 3Com 3c579(PH-5792-01 または PH-579T-01)および PCI RAID コントローラを追加して、標準装備の SCSI コントローラ(AHA-2940W)に DAT または DLT を接続する場合。

### 2. オプション装置の装着

各オプション装着を、次の点に注意して設定、装着してください。

#### Ethernet コントローラの装着

**39.1 Ethernet コントローラを EISA スロットに装着してください。** 取り付け方法の詳細については、**Ethernet** コントローラのマニュアルおよび「**Digital Prioris HX Server ユーザーガイド**」を参照してください。

## 39.2

### 39.3 メモリの装着

メモリを装着する時には、以下の点に注意してください。

- メモリを増設する場合には、各 SIMM ソケットに決められた構成で SIMM メモリを増設する必要があります。メモリの構成については、「Digital Prioris HX Server ユーザーガイド」を参照してください。
- パリティメモリと ECC メモリを同時に使用することはできません。必ずどちらか一方のみのメモリを装着してください。
- 256MB を超えるメモリを装着している場合、Quick Launch Version 1.0 を起動する時に次のメッセージを表示して DOS プロンプトに戻ってしまう場合があります。
- ERROR: PageOverCommit value in SYSTEM.INI is too large.

**1. Decrease the value, or if not present, add a setting that is less than 4.**

### 39.4C:\>

**39.5**この場合には一旦、**256MB** 以下になるようにメモリを装着して **Quick Launch** による設定を行ってください。その後、メモリを増設した後、**DOS** パーティションにインストールされた **SCU** を起動して設定を保存すると **256MB** を超えるメモリを使用できるようになります。

## 39.6

### 39.7 SCSI コントローラを追加する場合

標準添付の SCSI コントローラ AHA-2940W 以外に AHA-2940/W を追加するすると、Quick Launch CD-ROM からの起動途中に、DOS プロンプトに戻る場合があります。この場合には SCSI コントローラ AHA-2940/W を追加せずに Quick Launch による設定を行ってください。セットアップが終了した後、SCSI コントローラを追加して PCI スロットの設定を行うと使用できます。

### 39.8 ハードディスクの設定

ハードディスクを設定する時には、以下の点に注意してください。

**39.9 Prioris HX Server** に装着するハードディスクは **SBB**(ストレージビルディングブロック)と呼ばれるホットスワップ対応の **SCSI** ハードディスクです。このハードディスクは、ホットスワップベイの装着する場所によって **SCSI ID** が決定されます。ホットスワップベイは上から順番に **SCSI ID 0~6** まで割り当てられています。**SBB** は、ホットスワップベイの上から順番に装着してください。

**39.10**標準構成では、**CD-ROM** ドライブは **SCSI ID 6** を使用していますのでホットスワップベイの一番下には **SBB** は取り付けられません。この場合、ホットスワップベイに接続する **SCSI** コントローラと、**CD-ROM** を接続する **SCSI** コントローラを分ける必要があります。

## 39.11

### 39.12 テープ装置の設定

DATまたはDLTなどのテープ装置を設定する時には、以下の点に注意してください。

- SCSI IDを他のSCSI装置と衝突しないように設定してください。通常は、SCSI ID 5に設定します。
- テープ装置のSCSIバスターミネータの設定が無効になっていることを確認してください。
- DATを装着する場合には、DATでデータの圧縮をするかどうかの設定(DC:Data Compression)を、必要に応じて有効(Enabled)または無効(Disabled)に設定してください。DDS2で圧縮機能を使用する場合には、Enabledに設定します。
- 
- SCSI装置の装着およびケーブルの接続(SCSIコントローラAHA-2940Wに接続する場合)
- DATまたはDLTを取り付けて、SCSIケーブルを次の図のように接続してください。SBBは本体前面右のホットスワップベイに取り付けます。
- $\mu$ §
- SCSI装置の装着およびケーブルの接続(SCSIコントローラAHA-2940Wに接続する場合)
- 
- 記号
- 構成部品
- 
- A
- ストレージバックプレーン (ホットスワップベイの背面パネル)
- 
- B
- Wide SCSIケーブル
- 
- C

#### SCSI装置用 Wide/Narrow 変換コネクタ

### 39.13D

### 39.14CD-ROMドライブ

### 39.15

### 39.16E

### 39.17バックプレーン用 Wide SCSI ターミネータ

### 39.18

### 39.19F

### 39.20Wide SCSI ジャンパケーブル

### 39.21

### 39.22G

### 39.23Wide SCSI コントローラ AHA-2940W

### 39.24

### 39.25H

Wide SCSI コネクタ

L

DATまたはDLT

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)

RAID コントローラおよび、DAT または DLT を取り付けて、SCSI ケーブルを次の図のように接続してください。SBB は本体前面右側のホットスワップベイに取り付けます。RAID コントローラは PCI Slot1 または 2 に装着してください。PCI Slot 4~6 には装着できません。

μ §

SCSI 装置の装着およびケーブルの接続(RAID コントローラを装着する場合)

記号  
構成部品

B

Wide

---

SCSI f□ff	I PCI Wide SCSI RAIDffff□f
C SCSI 装置 — Wide / Narr ow•Š ffff	J 2ndffff—“•f□ff  K Wide SCSIf□ff—f□ff□f  L DAT,,,DLT (f□f’,AHA-2940W,□’,,,,)
D CD- ROMf fff	3.Quick Launch,,,fffff プ fffff’;’,□,,,□Quick Launch CD-ROM,,<動し,fffff,□,,,□Ž,Ž□,□’,,,,,,□
E ffff□f — Wide SCSIf □ff□f	ffff□f,“CE,“,,,ffff,<“,,,,□ CD-ROMffff,Quick Launch CD-ROM,““する,CD-ROM,,<“,,,,□,,ŽŽ,fff□ジが
G Wide SCSIf ffff□fA HA- 2940 W	
H Wide SCSI コネ ff	

---

**39.26**表示された場合には、<F1>キーを押して続行してください。

**39.27**Press <F1> to resume,<F2> to Setup

**39.28**

SCUが起動したら、「Main Menu(メインメニュー)」から「Configure Computer(システム環境設定)」を選択してください。メニューが表示されたら、「Step 3: View or Edit Details(設定値の表示と編集)」を選択してください。

各項目を次のように設定してください。

System - Digital Prioris System Board

System Processor Type ... Pentium(TM)

System Processor Clock ... 133 MHz

System Base Memory ... 640 KB

System Extended Memory ... **64512 KB, AT Bus Space Disabled**

**System BIOS** ..

---

.  
Phoe  
nixBI  
OS(T  
M)  
Versi  
on  
\*.\*

Disk  
ette  
Drive  
Grou  
p

Onbo  
ard  
Disk  
ette  
Contr  
oller  
...  
Enab  
led

Disk  
ette  
Drive  
A:  
...  
3.5  
inch  
1.44  
MB  
drive

Disk  
ette  
Drive  
B:  
...  
Not  
instal  
led

Exch  
ange  
Diskt  
ete  
Drive  
s  
...  
Disa  
bled

Disk  
ette

---



---

Write  
Prote  
ction

...  
Disa  
bled

Hard  
Disk  
Grou  
p

Hard  
Drive  
1

...  
Not  
Instal  
led

Hard  
Drive  
2

...  
Not  
Instal  
led

Larg  
e  
Drive  
Acce  
ss  
Mode

...  
DOS

Boot  
Optio  
ns  
Grou  
p

Boot  
opt

---

**40 ion ... A: then C:**

- SETUP prompt ... Enabled
- POST Errors ... Enabled
- Floppy check ... Enabled
- Summary screen ... Enabled
- 
- Keyboard Features Group
- Numlock ... Auto
- key Click ... Disabled
- Keyboard auto-repeat rate ... 30/sec
- Keyboard auto-repeat delay ... 1/2 sec
- 
- **Serial Port Group**
- **Serial Port 1** ... **Enabled at: 3F8h-3FFh(IRQ4)**
- Serial Port 2 ... Enabled at: 2F8h-2FFh(IRQ3)
- 
- Parallel Port Group
- Parallel Port ... Bi-Directional Mode :378h-37Ah(IRQ7)
- Video Options Group
- Video Type ... VGA or EGA
-

## Shadow Options Group

- Shadow Video BIOS ROM ... Enabled
  - Shadow C8000h-CBFFFh ... Disabled
  - Shadow CC000h-CFFFFh ... Disabled
  - Shadow D0000h-D3FFFh ... Disabled
  - Shadow D4000h-D7FFFh ... Disabled
  - Shadow D8000h-DBFFFh ... Disabled
  - Shadow DC000h-DFFFFh ... Disabled
- Security Options Group
  - Supervisor Password ... Not Installed
  - Password on boot ... Disabled
  - Diskette access ... User
  - Fixed disk boot sector ... Nomal
  - Network Server ... Disabled
  - System backup reminder ... Disabled
  - Virus check reminder ... Disabled
- Cache Options Group
  - Internal Cache ... Enabled
  - External Cache ... Enabled
  - Cache System BIOS ROM ... Enabled
  - Cache Video ROM ... Enabled
- Reserved System Resources ... Configuratiotn file and overlay  
Version V\* \*\*
- Mouse Port ... Enabled
- PCI Arbiter Priority ... System Default
- OCP Server Timer ... 5 min
- OCP Backlight ... On
- PCI Slot 1 Options Group \*
  - PCI Slot 1 INTA, INTD ... One IRQ required :IRQ10(<F6> キーで表示,変更可能)
  - PCI Slot 1 INTB ... None
  - PCI Slot 1 INTC ... None
  - PCI Slot 1 Default Latency Timer... No
  - PCI Slot 1 Device Latency Timer ... 40h
- PCI Slot 2 Options Group
  - PCI Slot 2 INTA, INTD ... None
  - PCI Slot 2 INTB ... None
  - PCI Slot 2 INTC ... None
  - PCI Slot 2 Default Latency Timer... No
  - PCI Slot 2 Device Latency Timer ... 40h
- PCI Slot 3 Options Group
  - PCI Slot 3 INTA, INTD ... One IRQ required :IRQ11(<F6> キーで表示,変更可能)
  - PCI Slot 3 INTB ... None
  - PCI Slot 3 INTC ... None
  - PCI Slot 3 Default Latency Timer... No
  - PCI Slot 3 Device Latency Timer ... 40h
- PCI Slot 4 Options Group
  - PCI Slot 4 INTA, INTD ... None
  - PCI Slot 4 INTB ... None
  - PCI Slot 4 INTC ... None
  - PCI Slot 4 Default Latency Timer... No
  - PCI Slot 4 Device Latency Timer ... 40h
- PCI Slot 5 Options Group
  - PCI Slot 5 INTA, INTD ... None
  - PCI Slot 5 INTB ... None
  - PCI Slot 5 INTC ... None
  - PCI Slot 5 Default Latency Timer... No
  - PCI Slot 5 Device Latency Timer ... 40h

\* PCI RAID コントローラを装着している Slot を設定します

PCI Slot 6 Options Group  
PCI Slot 6 INTA, INTD ... None  
PCI Slot 6 INTB ... None  
PCI Slot 6 INTC ... None  
PCI Slot 6 Default Latency Timer... No  
PCI Slot 6 Device Latency Timer ... 40h

CL-GD5428 VGA graphics Controller  
CL-GD5428 VGA Accelerator ... Graphics: Color and Mono  
Vertical Retract Interrupt ... Interrupt Disabled

Slot 3 - 3Com 3C579 EISA Network Adapter  
Interrupt Request Level ... 5  
Boot PROM Size ... Disabled  
Transceiver Type ... On-board coax :Ethernet ケーブルを接続するコネクタ  
を選択します。

設定が終わったら<Esc>キーを押した後「Step 5: Save and Exit(保存と終了)」を選択します。  
ここで、自動的にリセットされて CD-ROM から起動します。

RAID コントローラを装着していない場合には、DOS パーティションを作成する画面が表示されま  
す。ここでは 90MB に設定します。パーティションが作成された後、自動的にリセットされます。  
もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユーティリティがコピーされた後  
Quick Launch のメインメニューが表示されます。

RAID コントローラを装着している場合には、RAID コンフィギュレーションユーティリティが起動  
されます。ここで RAID コントローラの設定および論理ディスクの作成を行います。RAID の設定に  
ついては RAID コントローラに付属のマニュアルをごらんください。RAID の設定が終わったら、  
RAID コンフィギュレーションユーティリティを終了します。  
ここで、DOS パーティションを作成する画面が表示されますが何も入力せずにシステムをリセット  
してください。CD-ROM から再起動すると、RAID コンフィギュレーションユーティリティが起  
動されます。RAID の設定は終了しているのので、このままユーティリティを終了します。DOS パー  
ティションを作成する画面が表示されたら、90MB に設定します。パーティションが作成された後、  
自動的にリセットされます。もう一度 CD-ROM から起動すると、DOS パーティションに各種ユー  
ティリティがコピーされた後 Quick Launch のメインメニューが表示されます。

Quick Launch Version1.0 のメインメニューでは次のことが実行できます。  
メニュー  
機能

[Using Quick Launch]  
Quick Launch の使用方法の説明

[User Documentation]  
PRIORIS Server シリーズの各種マニュアルの表示

[Install Software]  
ソフトウェアのインストール支援

[Conventional Install]  
ユーティリティおよび各 OS 用のドライバディスクの作成

[Express Install]  
日本語版 Windows NT および NetWare では使用できません

[Replicate Install]  
日本語版 Windows NT および NetWare では使用できません

[Service Infomation]  
サービス情報の表示

また、ハードディスクの DOS パーティションには次のユーティリティがインストールされています。  
これらのユーティリティはハードディスクから DOS を起動した後、実行することができます。  
ユーティリティ  
ディレクトリ  
実行ファイル

診断プログラム  
C:\DIAG\  
DIAGNOSE.BAT

RAID コンフィギュレーションユーティリティ  
C:\RCU\  
RAID.BAT

SCU(System Configuration Utility)  
C:\SCU\  
SCU.BAT

EZ-SCSI のセットアップファイル  
C:\EZSCSI\  
DOSINST.BAT

Quick Launch を終了した後の DOS 画面および、ハードディスクから DOS を起動した場合には、  
英語モードの DOS になっています。この時、標準装備の 106 キーボードでは押したキーと入力さ  
れる文字が一部異なります。次の表にしたがってキー入力してください。

入力したい文字  
押すキー  
入力したい文字  
押すキー

≡または \  
<]>  
]  
<[>

=  
<Shift><;>  
;  
<Shift><@>

\*  
<Shift><8>  
8  
<Shift><[>

=  
<^>  
"  
<Shift><:>

+  
<Shift><^>  
@  
<Shift><7>

-  
<Shift><->  
,  
<:>

(  
<Shift><9>  
<Shift><6>

)  
<Shift><0>  
@  
<Shift><2>

[  
<@>

#### 4. ユーティリティおよびドライバディスクの作成

Quick Launch を使用して、各種ユーティリティおよび Windows NT Server 3.51 用のドライバディスクを作成することができます。Quick Launch Version 1.0 を使用している場合、Windows NT Server 3.51 をインストールするためにドライバディスクを作成する必要はありません。RAID コントローラのドライバは RAID コントローラに付属のドライバを使用し、その他のドライバはすべて Windows NT Server 3.51 に付属のものを使用します。ここでは、ユーティリティディスクのみを作成します。ここで作成するユーティリティはハードディスクの DOS パーティションにもインストールされており、DOS を起動した後にハードディスクから実行することもできます。しかし、システムが起動しなくなった場合に備えて、緊急用にディスクを作成しておくことを強くおすすめします。次の手順でディスクを作成してください。

Quick Launch のメインメニューから [Install Software] アイコン、[Conventional] タグ、[Windows] アイコンを順に選択します。[Windows NT Server 3.51] が表示されたら、[Continue] ボタンを選択します。

次のようなユーティリティおよびドライバの一覧表が表示されます。ここでディスクットを作成するのは、Diagnostics(診断プログラム)および Prioris Server Configuration Utility(SCU)(システムコンフィギュレーションユーティリティ)だけです。

3COM EISA Ethernet,3c579x  
3COM ISA Ethernet,3c509B  
Adaptec 2940,2940W,3940W,and On-board PCI SCSI Controller  
Cirrus On-Board Video Adapter  
CMD On-board IDE Controller  
Diagnostics  
Diamond Stealth64 PCI Video Adapter, Windows NT  
Digital EISA FDDI DEFEA  
Digital On-board Ethernet 21040  
Digital PCI Ethernet,DE435  
Logitech Mouseware  
Matrox Millenium Video Adapter,Windows NT  
Mylex Configuration and Utilities  
Mylex EISA and PCI RAID Controller  
Prioris Server Configuration Utility(SCU)  
Proteon EISA Token Ting 1990+, 1 of 2  
Proteon EISA Token Ting 1990+, 2 of 2  
Racal PCI Ethernet T2  
ZNYX PCI Ethernet,ZX312

Diagnostics を選択した後、フォーマットした 2HD のディスクットを挿入して [Continue] ボタンを選択すると、次のような画面になります。ここでは作成するディスクットのラベルが表示されますので、これをディスクットのラベルに記入してください。 <Enter> キーを押すとディスクットが作成されます。

Digital Equipment Corporation  
QAPLUS/FE (TM) Version 5.30B  
1) Power off the system  
2) Place diskette in Drive A:  
3) Power on the system  
(c) 1994 DIAGSOFT, Inc.  
(c) 1994 Microsoft Corp.  
(c) 1994 Adaptec, Inc.  
(c) 1992 Logitech, Inc.  
All Rights Reserved

Insert a blank high-density diskette in drive A.:  
Press ENTER to extract, or ESC to exit -

同様に Prioris Server Configuration Utility(SCU) のディスクットも作成してください。

#### 5.EZ-SCSI のインストール

EZ-SCSI は Adaptec コントローラ用の DOS 用ドライバおよびユーティリティです。以下の手順でインストールしてください。

Quick Launch のメインメニューから [Exit] ボタンを選択して Quick Launch を終了します。(必ず Quick Launch CD-ROM から起動した後、Quick Launch を終了して DOS 画面にしてください。ハードディスクから DOS を起動した状態ではインストールできません)  
C:\EZSCSI\DOSINST.BAT を実行してください。  
メニューにしたがってインストールを続行します。  
MSCDEX.EXE ファイルを要求するメッセージが表示される場合には R:\ディレクトリを指定してください。

CONFIG.SYS および AUTOEXEC.BAT を変更する画面が表示されたら、[Make all modifications for you]を選択してください。  
インストールが終了した後、ハードディスクから DOS を起動すると Adaptec SCSI コントローラ用のドライバがロードされます。

#### EZ-SCSI 使用時の注意事項

EZ-SCSI をインストールすると、コンベンショナルメモリ不足のためハードディスクから SCU を起動することはできなくなります。SCU を実行する場合には CONFIG.SYS と AUTOEXEC.BAT をリネームした後、再起動する必要があります。

### 6.Windows NT Server 3.51 のインストール

Windows NT Server 3.51 をインストールする場合には次の手順を実行してください。

Windows NT Server 3.51 のセットアップブートディスクと Windows NT Server 3.51 の CD-ROM を挿入して起動してください。

画面表示にしたがって、セットアップディスクを順番に挿入します。

「Windows NT Server セットアップディスク #3」を挿入してセットアップを続行した後、次の画面が表示されたら、<Enter>キーを押して高速 セットアップを選択してください。

#### Windows NT Server セットアップ

=====

Windows NT のセットアップの方法には、次の2つの方法があります:

##### 高速セットアップ(こちらをお勧めします)

高速セットアップでは、Windows NT の組み込みを迅速かつ容易に行えるように、難しい設定はセットアップが自動的に判断します。

高速セットアップを使用するには、Enter キーを押してください。

##### カスタム セットアップ

カスタムセットアップは、Windows NT の設定内容を自分で制御したい経験の豊富なコンピュータ ユーザを対象にしています。

カスタム セットアップを使用するには、C キーを押してください。

これらのセットアップについて説明を表示するには、F1 キーを押してください。

Enter=高速セットアップ C=カスタム セットアップ F1=ヘルプ F3=終了



セットアップディスク #4 挿入した後、次の画面が表示されたら、Adaptec の SCSI コントローラおよび RAID コントローラが検出されていることを確認して <Enter> キーを押してください。RAID コントローラを装着していない場合には、Adaptec の SCSI コントローラのみが検出されません。

#### Windows NT Server セットアップ

=====

セットアップは、コンピュータに次の大容量記憶装置を検出しました:

Adaptec 294x/AIC 78xx (PCI)  
Mylex DAC960 / DEC SWXCR-Ex

- Windows NT で使用する SCSI アダプタ、CD-ROM ドライブ、または特殊なディスク コントローラを追加して指定する場合は、S キーを押してください。大容量記憶装置のメーカーのデバイス サポート ディスクで指定する場合も、S キーを押してください。
- メーカーのデバイス サポート ディスクがない場合、または追加で指定していない Windows NT を使用する大容量記憶装置がない場合は、Enter キーを押してください。

S=追加デバイスの指定 Enter=続行 F3=終了

ここで、次の画面が表示されることがありますが、このまま <Enter> キーを押して続行してください。

#### Windows NT Server セットアップ

=====

続行するには、Enter キーを押してください。

シリンダの数が 1024 を超えるハードディスクが存在します。

一般的に、MS-DOS では、1 台のハードディスクのシリンダ数は最大 1024 ですが、ハードディスクコントローラの中には、特別な構成オプションを用意して、大容量のハードディスク全体にアクセスできるようにしてあるものもあります。このオプションはセクタ変換モードと呼ばれます。ディスクのシリンダ数が 1024 を超えるときや、セクタ変換モードを使用できないときには、MS-DOS ではディスクの一部にアクセスできません。セクタ変換および大容量ハードディスクに関しては、コンピュータまたはハードディスクコントローラのマニュアルを参照してください。

後で表示されるハードディスクに関する情報で、ディスクのサイズが小さすぎるときは、セットアップを終了し、CMOS ドライブタイプの設定を調べる必要があります。CMOS ドライブタイプの設定の詳細については、コンピュータまたはハードディスクコントローラのマニュアルを参照してください。

このメッセージは、必ずしもエラーを示すものではありません。ハードディスクの中に、現在の構成よりも実際のサイズが大きいハードディスクが存在する可能

- 性があります。

- Enter=続行

- 

- 次の画面が表示されたら Windows NT Server 3.51 の CD-ROM が挿入されていることを確認して <Enter> キーを押してください。

- 

- Windows NT Server セットアップ

- =====

- 

コンピュータには、3.5" の高密度フロッピーディスクドライブ (1 台以上) に加えて CD-ROM ドライブが接続されています。

- (注: 5.25" のディスクからの組み込みはサポートされていません)。

- 

- Windows NT の組み込み元のメディアを選択してください。

- 

- ¥ Windows NT を CD-ROM から組み込むには、Enter キーを押してください。

- 

- ¥ Windows NT を 3.5" ディスク (ドライブ A:) から組み込むには、

- A キーを押してください。

-

- Enter=CD-ROMドライブ A=ドライブ A: F3:終了

●  
● 画面表示にしたがってセットアップを続行してください。次のような画面が表示されたら、未使用の領域を選択して<C>キーを押します。Windows NT Server 3.51 をインストールするパーティションのサイズを入力して<Enter>キーを押します。作成したパーティションを選択して<Enter>キーを押し、フォーマットタイプ(FATまたは NTFS)を選択した後<Enter>キーを押します。

- C:ドライブに Windows NT を組み込むことはできません。
- また、2GB を超えるハードディスクまたは RAID の論理ドライブの場合、システムパーティションのサイズは 2GB までしか作成できない場合があります。2GB を超える領域は Windows NT Server をインストールした後、ディスクアドミニストレータでパーティションを作成して使用することができます。

- Windows NT Server セットアップ

=====

- Windows NT を組み込むパーティションを作成してください。既存のパーティションと、新規パーティションの作成に使用できる容量は次のとおりです。

- 次の一覧から上向き方向キーと下向き方向キーを使ってパーティションを選択してください。

- ¥ 選択したパーティションまたは未使用の領域に Windows NT を組み込むには、Enter キーを押してください。

- ¥ 未使用の領域にパーティションを作成するには、C キーを押してください。

- ¥ 選択したパーティションを削除するには、D キーを押してください。

- 8190 MB ディスク 0 Id 8 (バス 0 dac960nt 上)

- C: FAT(QL DOS) 90 MB ( 84 MB 空き)
- 未使用の領域 1958 MB

- Enter=組み込み C=パーティションの作成 F1=ヘルプ F3:終了

●  
● CD-ROM からハードディスクにファイルのコピーが終了したら、<Enter>キーを押してコンピュータを再起動します。このときフロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出しておいてください。

- コンピュータが再起動したら、画面表示にしたがってセットアップを続行してください。

- Windows NT Server 3.51 はインストール中にライセンスモードを選択す

---

る必要があります。”同時  
使用ユーザ数”または、”  
接続クライアント数”の  
どちらかを選択してくだ  
さい。どちらを選択すべ  
きかは、使用する環境に  
よって異なります。ヘル  
プおよび Windows NT  
Server 3.51 のマニユア  
ルを参照してください。  
どちらにすべきかわから  
ない場合には、”同時使  
用ユーザ数”を選択して  
購入したクライアントラ  
イセンスの数を入力して  
ください。

以後、画面表示にしたがっ  
てインストールを完了し  
てください。

---

---

## 7.インストール後の作業

インストールが終了した後に次の作業を行ってください。

RAID コントローラのドライバの変更  
RAID コントローラを装着している場合には、RAID コントローラのドライバを入れ替えます。次の手順で行ってください。  
プログラムマネージャのメイングループから  
[Windows NT セットアップ]を起動します。  
[設定]メニューから[SCSI アダプタの追加と削除]を選択します。  
[Mylex DAC960/DEC DAC-Ex]を選択した後、[削除]を選択します。  
[追加]を選択するとインストールするアダプタの選択画面になります。[その他(ハードウェアメーカーのディスクが必要です。)]を選択します。  
RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入してパスを指定します。  
A:\NT\_35  
[Mylex DAC960 Disk Array Adapter]が表示されたら、[OK]を選択します。  
[Mylex DAC960/DEC DAC-E

---

- x)を選択して[組み込み]を選択します。
  - 次に[新しいドライバ]を選択すると、ドライバのパスを入力する画面が表示されます。ここでパスを入力して[OK]を選択します。
  - A:\NT\_35
  - [Mylex DAC960/DEC DAC-Ex]が追加されたことを確認して、[閉じる]を選択します。
  - 以上でドライバのインストールは終了です。Windows NT Server を再起動してください。
- 

RAID ユーティリティのインストール

---

---

RAID コントローラを装着している場合には RAID コントローラのユーティリティをインストールします。次の手順で行ってください。

RAID コントローラに付属のドライバディスク「DAC960 Software Kit」を挿入して次のコマンドを入力してください。

```
A:\>copy a:\nt_35\  
dacadm.exe d:\winnt35\  
system32
```

```
A:\>copy a:\nt_35\  
dacmon.exe d:\winnt35\  
system32
```

コピーした実行ファイルを[管理ツール]グループにアイコン登録してください。

- dacmon.exe は[スタートアップ]グループにもアイコン登録してください。
  - 
  - テープドライバのインストール  
テープドライブとして  
**DAT** SDT-5000(FR-PCXAT-AF)または  
DLT(FR-PCXAT-AF)を  
装着している場合には、  
テープドライバをインストールする必要があります。  
テープドライバのインストールは次の手順で行ってください。
  - メイングループから  
[Windows NT セットアップ]アイコンをダブルクリックして起動します。
  - [設定]メニューからテープデバイスの追加と削除を選択します。
    - [追加]ボタンをクリックした後、装着しているテープドライブ用のドライバ名を選択して  
[組み込み]ボタンをクリックします。
    - 装着しているテープドライブ
    - ドライバ名
    - 
    - DAT SDT-5000(FR-PCXAT-AF)
    - 4 mm SONY ドライブ
    - 
    - DLT (FR-PCXAT-
-

---

AF)

- Digital TZ86, TZ87,  
DLT2000
- 
- Windows NT Server  
3.51 の CD-ROM の  
i386 ディレクトリの  
パスを指定します。
- Windows NT セット  
アップを終了します。
- Windows NT Server  
を再起動するとドライ  
バがロードされて、テ  
ープドライブが使用で  
きるようになります。
- 
- SCSI コントローラの  
設定
- 複数の Adaptec SCSI コント  
ローラを使用する場合また  
は、RAID コントローラを同時  
に装着する場合、ハードディス  
クが装着されていない SCSI コ  
ントローラがあると電源投入後に  
次のメッセージが表示されるこ  
とがあります。

Press <F1> to resume, <F2> to  
Setup

<F1>キーを押せばそのまま使用す  
ることができますが、ハードディスク  
が接続されていない SCSI コントロー  
ラの BIOS を Disabled(無効)に設定  
すればこのメッセージは表示されな

---

- くなります。SCSI コントローラの BIOS を Disabled(無効)に設定するには、  
SCSISelect ユーティリティを使用します。SCSISelect はシステム起動時に、SCSI  
BIOS が表示されている時に <Ctrl><A>を押すと起動します。
- また、CD-ROM から起動する場合には、その時だけ SCSI BIOS を Enabled(有効)に  
設定してください。

#### 動作確認

インストール後、上記のすべての作業が終わったら、Windows NT Server 3.51 が正常に動作し  
ていることを確認してください。